

急激な景気悪化から

雇用・中小企業を守るため全力!

12月議会報告

日本共産党福岡市議団



日本共産党福岡市議団は12月議会で、急激な景気悪化から市民生活と雇用、中小企業・業者の営業を守るための対策を求めて奮闘しました。他会派は景気問題をまったく取りあげませんでした。また日本共産党は政府に対する「急激な大量失業への対策強化を求める意見書」を提案しましたが、自民、公明、みらい、福政の反対によって否決されました。

雇用対策は国まかせではなく、市長先頭に緊急対策を

急激な景気悪化を理由に大企業

が「派遣切り」「内定取り消し」など大量解雇をすすめています。日

本共産党は、市長に対し、雇用を守る

ため、実態把握のうえ、解雇をや

めるよう企業要請を行うべきだと

迫りました。また、失業者を救済す

るために、相談窓口をひろげ、生活

資金の支給や、使える貸付金制度

生活保護の積極的活用などを求め

ました(熊谷敦子市議の一般質問)。

市側は「雇用確保について県や

国の福岡労働局、ハローワークなど

と連携して対応していく」と答弁。

その後、解雇された人への市営住

宅提供を始めましたが、まだ不十

分。国まかせの態度を改め、雇用・

失業対策に本腰を入れるべきです。

中小業者への直接支援など急げ

日本共産党は、資金繰りに苦し

む中小企業・業者を支援するため

の経済振興策を要求しました。市

として、地元銀行による貸し渋り、

貸しはがしの中止を求めること、制

度融資の改善・拡充、原材料高騰

分の直接助成が必要だと主張。さ

日本共産党福岡市議団は12月25日、吉田市長に来年度予算編成に関する重点要望を提出しました。

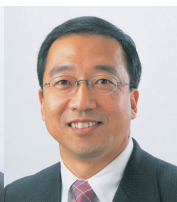


雇用と中小企業・業者を守るための日本共産党の緊急申し入れ

- 「緊急雇用・経済対策本部」の設置
- 市長が主要企業・経済団体に雇用拡大を要請すること、銀行に貸し渋り、貸しはがし中止を要請すること
- 失業者の相談窓口で、生活資金、住宅、就職あっせんなど。市独自の支給金、貸付金を設けること
- ホームレス支援に取り組むNPOに対する支援強化
- 緊急融資の制度の充実。体制強化、融資の申込みへの迅速な対応。制度融資の市税納付要件の緩和
- 運転資金用の独自の制度融資。原材料高騰分補てんのための助成制度の創設
- 市の臨時職員の採用、地場中小企業向け官公需発注の前倒しと増額。雇用拡大と仕事づくりにとりくむ



南区 宮本秀国 (団長)



早良区 中山いくみ (幹事長)



中央区 星野美恵子



博多区 ひえじま俊和



城南区 倉元達朗



西区 熊谷敦子